

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA）		
ナンバリングコード	E21201	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2年／前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002411	クラス名	鍋田ゼミ
担当教員名	鍋田 耕作		
履修上の注意、 履修条件	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり、自分の意見を持つ、そして相手に伝えることを意識的に 行っていきます。そのためにも講義、グループ活動への積極的な参加を期待します。		
教科書	必要に応じ、プリントを配布します		
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。		
関連科目	社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，地域福祉論，社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	（ゼミナールⅡA・ⅡB共通） 本講義では、PBL（Problem/Project Based Learning）を活用し、地域社会に起きている課題につ いてグループで「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告（発表）→振り返りを1サ イクルとしてグループ活動を行います。 また、こども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、『子ども』『高齢者』『障がい者』、 そして『ビジネス』など様々な視点から、つながりのある地域社会の実現に貢献できる人材」に焦点 をあて、地域社会が抱えている課題について、自ら調べ、考え、そしてチームで解決策を考える（社 会人基礎力:「チームで働く力」、「前に踏み出す力」）修得を目指します。	
授業の概要	ゼミナールⅡでは、様々な地域課題について、その解決策についてグループで検討し、発表を行 い、社会人基礎力の修得を目指します。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「該当しない」
	（3）アクティブ・ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員に よる授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100点）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試 験・中間確	提出物 （レポート・ 作品等）	無形成果 （発表・そ の他）
【関心・意欲・態度】	・地域社会で起きている課題について関心を示すことができる ・チームで課題解決に向けて取組む姿勢を示すことができる		30点	
【知識・理解】	・PBLの課程について理解できている ・課題解決の方策について理解できている		20点	
【技能・表現・ コミュニケーション】	・自分自身で調べた、考えた事項について他のメンバーに伝 えることができる ・チーム活動の成果について適切にプレゼンテーションするこ とができる		15点	15点
【思考・判断・創造】	・他のメンバーの考え、意見を理解し、自らの立場に基づいた 意見を述べるることができる。		20点	
○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）				
原則として、毎回の講義の最後に提出物を求めます。 次回の講義時間中に内容等に関するフィードバックを行います。 講義での提出物、講義への参加状況および発表をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。				

○その他
・講義内容の質問等については、講義終了後またはメール等を活用してください。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 鍋田 耕作	授業コード	E002411
学修内容					
1. オリエンテーション 本講義の目的および内容等について説明します。また、履修状況の確認を行う					
予習		講義の目的等についてシラバスを確認する			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
2. アイスブレイキング アイスブレイキングについて理解する					
予習		:アイスブレイキングの意義・目的について調べる			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
3. アイスブレイキング アイスブレイキングについて実際に考える					
予習		アイスブレイキングの対象となる人について調べる			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
4. PBL(Pbblem Based Larning)①ー1 PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する					
予習		PBL意義・目的について調べる			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
5. PBL①ー2 設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する					
予習		課題についての情報収集を行う			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
6. PBL①ー3 第5週目の情報収集・課題整理をもとに、解題解決に向けた方策について考える					
予習		グループで出された課題を見直すとともに、解決策について考える			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
7. PBL①ー4 第4週から第6週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出					
予習		発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
8. PBL①ー5 第7週で各グループから選出された代表チームによる発表会					
予習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
復習					

○授業計画		科 目 名	ゼミナールⅡ A（SeminarⅡ A）	授業コード	E002411
		担当教員	鍋田 耕作		
学修内容					
9. ・地域社会で起きている課題について関心を示すことができる PBL①でのチーム目標の達成度、チーム内での役割などについて振り返りを行う					
予習		チーム目標、チーム内での役割について確認する			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
10. ・自分自身で調べた、考えた事項について他のメンバーに伝えることができる PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する					
予習		PBL意義・目的について調べる			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
11. PBL②ー2 設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する					
予習		課題についての情報収集を行う			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
12. PBL②ー3 第11週目の情報収集・課題整理をもとに、解題解決に向けた方策について考える					
予習		グループで出された課題を見直すとともに、解決策について考える			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
13. PBL②ー4 第10週から第12週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出					
予習		発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
14. PBL②ー5 第13週で各グループから選出された代表チームによる発表会					
予習		前回の発表会の振り返りを行う			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
15. PBL②振り返り PBL①でのチーム目標の達成度、チーム内での役割などについて振り返りを行う					
予習		チーム目標、チーム内での役割について確認する			約2時間
復習		配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
16.					
予習					
復習					